

**まじわるdeまなぶ 「発達障がいについて①」**  
 1月24日(木) 13:30～15:00  
 講師：阿佐野智昭氏  
 川崎市発達相談支援センター  
 \*参加者：12名  
 発達障がいについて、自閉症スペクトラム症や注意欠陥・多動症、限局性学習症について具体的に学びました。不器用さの体験等発達障がいの体験もし、座学での学びをより具体的に理解することができました。発達障がいの方と丁寧に向き合いながら理解をし、細かく支援を実施していくことが重要であるということ学びました。支援者の方の受講も多く、日常支援のヒントを得られることができたという感想が多かったです。

**しょうがい者サポーター養成講座**  
 2月15日(木) 13:30～15:00  
 ・対象：向丘第二地区民生委員児童委員協議会  
 \*参加者：11名  
 民生委員・児童委員の方を対象に「しょうがい者サポーター養成講座」を開催しました。日頃より、地域住民の皆さんを見守ってくださる民生委員・児童委員の方に「見守る」ことが重要である、「しょうがい者サポーター」について理解をして頂くことができました。

**しょうがい者サポーター養成講座**  
 1月17日(木) 13:30～14:30  
 \*法人内職員を対象  
 法人内新人職員を対象に、基礎研修として「しょうがい者サポーター養成講座」を実施しました。

**速報 2019年度 まじわるde夏まつり の開催日が決まりました。**  
 日時：7月20日(土) 10:30～14:30



会場は、まじわる宮前を予定しています。今年も皆さんと一緒にまじわるde夏まつりを盛り上げましょう！お手伝いをして下さるボランティアさんを今年も募集します。ご協力のほど、よろしくお願い致します。

**まじわるdeトーク**  
 2月2日(土) 13:00～15:00  
 \*参加者：6名  
 翌日2/3(日)は節分ということもあり、節分をテーマに豆まきや恵方巻きについての思い出をしゃべり、季節に合ったトークをすることができました。又、様々な年末年始の様子を聞く事ができました。そして、各々の生い立ちや障がいについても話し、お互いの人生観に触れ、非常に内容の濃いトークでした。

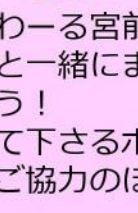


**しょうがい者サポーター交流会**  
 2月16日(土) 10:00～12:00  
 \*参加者：11名  
 しょうがい者サポーター同士の交流や、障がいがある人もない人も共に支え合うことについて考えることを目的として、「しょうがい者サポーター交流会」を開催しました。  
 ※中面に詳しく特集をしています。

**しょうがい者サポーター養成講座**  
 3月5日(火) 13:30～15:00 \*参加者：6名  
 講座後、もっと障がいについて知りたいという意欲的な意見が多く、関心の高さを実感しました。又、「一人ひとり違う中で、その方が必要と思われた時、一歩近づけるようになりたいです」という温かい感想を頂くことができ、「しょうがい者サポーター」がまた少し増えたことを嬉しく思います。

**速報 2019年度 まじわるdeフラワーのご案内です。**

日時：5月11日(土) 13:30～15:00  
 会場：あーる工房 2F  
 ※母の日のプレゼントとして。また自分へのご褒美としていかがでしょうか・・・お待ちしております。



**まじわるde ボタニカルジェルキャンドル**  
 2月7日(木) 13:30～15:00  
 講師：小浦千恵氏(ハナーチェ)  
 \*参加者：12名  
 「ボタニカルジェルキャンドル」をバレンタイン仕様で作成しました。ドライフラワー等の材料を選ぶ際に、皆さん悩んでいましたが、小浦先生の優しく丁寧なアドバイスのもと、一生懸命作成しました。個性豊かな可愛らしい素敵なキャンドルができました。インテリアとしても楽しめるボタニカルジェルキャンドルを楽しくおしゃべりしながら作成することができました。

**まじわるdeまなぶ 「発達障がいについて②」**  
 3月2日(土) 13:30～15:00  
 講師：1stサポーターズ宮前 松崎氏、加藤氏  
 \*参加者：6名  
 今回は、発達障がいを抱える方のご家族のお話を聞かせて頂きました。  
 ※中面に詳しく特集をしています。

**【編集後記】**  
 新年度が始まり、この号が読まれる頃には新しい元号が発表されていると思います。きまっしーも新たな取り組みも含め地域交流事業の充実を図ってまいります。まだまだ力不足のきまっしーですが障がいがあっても暮らしやすい地域づくりをめざして邁進していきます。きまっしーも4月から相談支援事業専従の職員が1名増員になります。これからも温かいご支援・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

季刊 きまっしー Vol. 11 春号



【シャクヤク】

【長瀬 明代 (ながせ あきよ)】

生活介護あーる工房 所属  
 1972年生まれ  
 自主製品のマットづくりも絵画や創作活動、おやつ作りなど何事にも器用で、積極的に一途に取り組む。作品のモチーフ選びも、絵具やペンの色や種類を選ぶ際も、まったく迷いがなく、スピード感をもって力強く描いていく。筆圧が強い、迷いのない作品は、色彩感覚に溢れているが、どこかユニーク。彼女の一途で可愛らしい内面が作品の表情によく表れている。

発行日：2019年4月1日  
 発行元：社会福祉法人みのり会  
 生活支援センターきまっしー  
 連絡先：宮前区馬絹6丁目10番33号  
 まじわる宮前2階  
 TEL 044(855)1011  
 FAX 044(855)1022  
 kimassi@tobe-kobato.or.jp  
 https://www.facebook.com/kimassi.kimassi/

きまっしー 2019年度のイベント情報 (予定) です。



【サボちゃん】

今年度も“生活支援センターきまっしーは、障害者生活支援・地域交流事業として様々なイベントを企画しました。ご興味のある方は、ぜひこの機会にご参加ください。

4月13日(土)	まじわるde トーク	9月	まじわるde まなぶ (身体)
5月21日(火)	サポーター養成講座	10月12日(土)	まじわるde トーク
5月 末日	まじわるde まなぶ (知的)	10月	まじわるde まなぶ (精神)
6月 8日(土)	まじわるde トーク	11月 7日(木)	サポーター養成講座
6月21日(金)	まじわるde 市民館トーク	11月	まじわるde 市民館トーク
7月20日(土)	まじわるde 夏まつり	12月14日(土)	まじわるde トーク
8月10日(土)	まじわるde トーク	1月23日(木)	サポーター養成講座
8月	まじわるde まなぶ (発達)	2月 8日(土)	まじわるde トーク
9月 7日(土)	サポーター養成講座	2月15日(土)	サポーター交流会

※ 会場・講師等の調整、その他の事情により開催日が変更になる場合があります。

今年度も“きまっしー”の事業は、上記の他にも障がいのある方もない方も四季折々のテーマをもって一緒に楽しめるワークショップや障がい理解について、更に知識を高めていただくための「ステップアップ講座(仮称)」。そして小中学生を対象に障がいについての基礎知識とサポートについての講座などを計画・進行中です。詳しくはチラシやWeb等でご案内致します。また地域の公共施設や関係機関にも“きまっしー”のイベントチラシを置かせてもらっています。目に留まったチラシがありましたらぜひ一報をください。お待ちしております。



※イベントの一例です。





## ふれあっていく ささえあっていく しょうがい者サポーター



前号(新春号)に引き続き、「ふれあっていく ささえあっていく しょうがい者サポーター」の基礎知識として、宮前区に所在地がある障がい福祉サービスの事業所等を紹介します。

参考資料は、「ふれあい-障害福祉の案内-平成30年度」版より、各項目に分けて障がい福祉サービスの事業所数のみを表しました。

**障害者相談支援事業所(所在地)**  
 基幹相談支援センター： **1ヶ所**  
 地域相談支援センター： **3ヶ所**  
 計画相談支援事業所： **12ヶ所**

●障害者相談支援事業所とは、障がいのある方や、その家族の生活や支援に関する相談に応じ、関係機関と連携して障がいのある方の身近な地域において、安心して生活できる地域の支援体制をつくってくださるところです。

●障害者支援施設とは、障害者総合支援法に基づき「障害者につき、施設入所支援を行うとともに、施設入所支援以外の施設障害福祉サービスを行う施設」と規定されています。

**障害者支援事業所(所在地)**  
 入所施設： **2ヶ所**  
 短期入所： **3ヶ所**  
 生活介護： **9ヶ所**  
 就労継続： **2ヶ所**  
 自立訓練： **1ヶ所**  
 一時預かり： **4ヶ所**  
 児童発達支援： **4ヶ所**  
 放課後等デイサービス： **13ヶ所**  
 地域活動支援センター： **4ヶ所**  
 グループホーム： **43ヶ所**

具体的には、障がい者に対し、夜間から早朝にかけては「施設入所支援」を提供するとともに、は日中は「生活介護」などの「日中活動系サービス(昼間実施サービス)」を行う社会福祉施設です。



区内でも障がい者のグループホームが開設しています。どこも個室やダイニングルームなど人権や環境に配慮した素敵な設備が整っています。親の高齢化によって障がい者のグループホームの需要はますます高まっていると感じます。利用者の募集定員に対し約3倍もの応募者があったという話やホームで働く職員がなかなか集まらないという話もよく聞きます。障がい理解への取り組みは、地域福祉を進めていくうえでもますます重要な立場にあると感じてほしいです。

## 2月16日(土) しょうがい者サポーター交流会を開催しました

【あまえたい】

あまえたい

あまえたい、あまえたい  
 私はあなたに、あまえたい  
 あなたは、優しい気持ちがある  
 私は、あなたが大好き大好き  
 私の心を、おつめて、下さい  
 あなたの笑顔の中で、あまえたい  
 あなたの笑顔の中で、あまえたい  
 あまえたい。

しょうがい者サポーター事業も間もなく3年を迎えようとしています。これまで養成講座を経てサポーターとして登録していただいた方は**237名**になりました(平成31年3月末現在)。

しょうがい者サポーター事業を2年間活動し、多くの方にサポーター登録をしていただきました。今年度は、そのサポーターの皆さまをサポートする役割として交流会を開催しました。

第1回目は、区内にあるグループホームに生活拠点を置く車いす利用者の近岡吉彦様をお招きして、現在の生活に落ち着くまでの半生を語ってもらい後半の茶話会では近岡様を交えて意見交換を行いました。

※第18回NHKハート展入選作品  
 (2013年2月~2014年3月)

近岡様は、幼少期から50歳代になるまで施設での生活を過ごしてきました。長い施設生活からグループホームを知り、将来一人で生活したいという思いからグループホームへの入居を決めたとのこと。趣味も豊富(詩・絵画・折り紙等)で、将来はとんぼ玉の制作にも関わりたいと希望を話されていました。車イス生活の彼が外出した時に困ったことや、地域の皆さまに知ってほしい事を話してくれました。「…デコボコの道があぶない。小さな道では人と人があぶない。大きな道があったら良かったと思います。

…電動車イスが大きかった時は、お店に入ることができなかった。…小さなトイレがあった。毎日大きなトイレがあったら良かった。みんな、障がいのために考えてほしいと思います。(一部抜粋)」と投げかけてくださいました。やっと地域で生活できたのに、一歩外へ出るには一人では動けない大変さがあるという事です。

2部の茶話会でも、サポーターの皆さんから近岡様への質問が多く寄せられました。近い将来、一人暮らしを希望されている近岡様は、一人暮らしをしている身体障がいの方とお話しし、強い気持ちがあればトライしていくべきだし、支援者同士で十分に事前準備をしていくことも必要とのアドバイスをもらったとのこと。またホームの隣がコンビニなので、そこでの買い物やお金の引き出しが一人でできるようになったのもとても便利になったことを話してくださいました。

ホームの支援者にも質問が寄せられ、ホームを離れ一人暮らしになった後、もしどうしても一人暮らしが難しくなった場合は、またホームに戻って来れるのかとの質問には、実際ホーム利用を待っている方も多く、担保として部屋を開けとくことは難しいがその際には

支援者としてできる限りのことはしていきたいとお話してました。サポーターの一人は彼の多趣味でポジティブな話に感動されていました。

私たちがサポーターとしてできること・・・街なかで、彼らが立ち止まった時にちょっとしたサポートで彼らに笑顔が戻るのではないかなと感じました。お話が終わった後の彼の笑顔は、とても素敵でした。

今後も、地域で生活する障がい当事者の思いを知っていただきサポーター活動につながるようにして行けたらと考えています。来年も「サポーター交流会」を開きます。サポーターとして更に障がい理解について一緒に考えていきませんか。お待ちしております。



## 発達障がいのある方のご家族のお話し・・・ 3月5日「まじわるdeまなぶ」から

発達障がいの子を持つ親として、また地元でも発達障がいの子を持つ親のグループで活躍する松崎様、加藤様をお願いして、子育てや子育てにともなう行政(教育や福祉)の現状についてお話を聞くことができました。

座談会形式でのお話しで進行し、それぞれのお子さんの障がい特性を紹介し学級(通常・特別支援)と通級指導教室の違いや川崎市の教育委員会では親が学校を選択できる制度などを詳しく紹介してくださいました。また教育と福祉についても、行政機関が違うことでサービスの内容が異なること等のお話がありました。

受講者からは、①発達障がいの当事者として自分も学生の時にいじめにあった話や②娘さんのことで病院で診断してもらったがまだ保留状態にあるとのことと心配しているという話をされていました。発達相談支援センターの阿佐野氏から、親、支援者、当事者それぞれのネットワークづくりを積極的に行うことが大切との助言をいただき、参加された誰もが自分の思いを話せたことで安心したようでした。

「まじわる」もそれぞれのネットワークづくりのお手伝いをさせてもらうことが地域交流事業の一つだと考えております。よろしくお祈りいたします。



※近岡氏の作品(一部)  
 刺し子、ビーズ、折り紙、点描画など、さまざまな作品を制作しています。

### きまっしーも

興味深々...

## なので、(仮称)宮前区の「希望のシナリオ」実現プロジェクトに参加しました。

3月21日(水) 13:30~、セレスモス宮前店2階のモスビーホールにて、まちづくり推進部企画課が進める「希望のシナリオ」実現プロジェクトにきまっしーもスタッフ2名で参加しました。この日は約60名を超える参加者が集まっていました。

まず初めにプロジェクト進行にあたり区の企画課から、目的やこれまでの活動報告を受け、「つながり」「多世代の交流」「活動相関図」「市民創発」「協働・連携」「トライアンドエラー、スモールスタート」が街づくりには欠かせないキーワードということを学びました。そして6つの大きなテーマに沿ってグループに分かれて「希望のシナリオ」への企画書(仮称)づくりをしました。豊かなつながりや居場所があり、弱い立場にある人も含めてみんな幸福で誰もが認められる社会がずっと続く...そんな地域の実現を目指していきましょと、様々な意見を出し合うことができました。

きまっしーは、第3グループ(高齢者・障害者・防災・防犯・交通安全)と第8グループ(スポーツ・にぎわいづくり)に入りました。きまっしーとして活躍できる「つながり」を模索しつつ、またグループのメンバーともアイデアを交えつつ希望のシナリオ作りを進めていきました。



※各グループの発表風景です。

第3グループでは「一緒にイベントやっちゃお!(マルシェ・ごはん作って食べる・わんわん交流・防災...)」という企画を。第8グループでは「まちゼミ鷺沼→区内全域へ」「まいカフェみ〜や+お花でまちづくり」を企画。その後、各グループの企画を発表して終了しました。(詳しくは、後日まちづくり推進部企画課から報告があります。)

きまっしーも今回のプロジェクトで、地域で活躍する方々と「つながり」が生まれてとても良かったです。この流れを継承しつつ「希望のシナリオ」が近い将来実現できるよう応援していきたいです。



※3グループでは、高齢者・障害者・防災・防犯・交通安全について意見を話し合いました。